

様式第 4 号 (第 4 条関係)

出張報告書	幹 事 長 印	経理責任者印														
平成 30 年 9 月 18 日																
<p>幹事長 矢 野 正 憲 殿</p>																
<p>出張者氏名 服 部 脩 二 印 " 矢 野 正 憲 印</p>																
<p>下記の通り報告します。</p>																
<p>1 出 張 先 全国市町村国際文化研修所 滋賀県大津市唐崎 2-13-1</p>																
<p>2 日 時 平成 30 年 8 月 2 日 (木) ~ 8 月 3 日 (金)</p>																
<p>3 出張用務 (宿泊を要する場合は用務)</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 45%;">8 月 2 日 (木) 13:15~14:45</td> <td>1 豊かな長寿社会を将来世代に</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">" 15:05~16:35</td> <td>2 地方行政を取り巻く状況と地域づくり</td> </tr> <tr> <td>8 月 3 日 (金) 9:00~10:30</td> <td>3 変化する地方行政とその対応</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">" 10:50~12:20</td> <td>4 インクルーシブ社会に向けて</td> </tr> </table>			8 月 2 日 (木) 13:15~14:45	1 豊かな長寿社会を将来世代に	" 15:05~16:35	2 地方行政を取り巻く状況と地域づくり	8 月 3 日 (金) 9:00~10:30	3 変化する地方行政とその対応	" 10:50~12:20	4 インクルーシブ社会に向けて						
8 月 2 日 (木) 13:15~14:45	1 豊かな長寿社会を将来世代に															
" 15:05~16:35	2 地方行政を取り巻く状況と地域づくり															
8 月 3 日 (金) 9:00~10:30	3 変化する地方行政とその対応															
" 10:50~12:20	4 インクルーシブ社会に向けて															
<p>4 旅費・研修費等</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 45%;">1 人 当たり</td> <td style="width: 55%;">2 人 当たり</td> </tr> <tr> <td>交 通 費 6,540 円</td> <td>合 計 額 26,812 円</td> </tr> <tr> <td>研 修 費 2,400 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>食 費 2,000 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>研修活動費 2,250 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>研修費送料 216 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計 額 13,406 円</td> <td></td> </tr> </table>			1 人 当たり	2 人 当たり	交 通 費 6,540 円	合 計 額 26,812 円	研 修 費 2,400 円		食 費 2,000 円		研修活動費 2,250 円		研修費送料 216 円		合 計 額 13,406 円	
1 人 当たり	2 人 当たり															
交 通 費 6,540 円	合 計 額 26,812 円															
研 修 費 2,400 円																
食 費 2,000 円																
研修活動費 2,250 円																
研修費送料 216 円																
合 計 額 13,406 円																

(1) テーマ「豊かな長寿社会を将来世代に」

講 師：清家篤氏（慶応義塾大学 元塾長）

世界に類をみない高齢化という事が叫ばれているが、戦後すぐの日本は衛生環境も悪く、平均寿命は男性50歳・女性54歳であったが、当時の人口ピラミッドは綺麗なピラミッド形で出生率も高く若い世代が多かった。高度経済成長と若い労働力人口がマッチし戦後復旧の原動力になる。

現在と今後の労働参加が進むケースの労働力率は

	2014年	2020年	2030年
男性 60-64歳	77.6%	→ 85.4%	→ 89.3%
65-69歳	52.5%	→ 62.3%	→ 67.9%
女性 30-34歳	71.0%	→ 79.3%	→ 84.6%
35-39歳	70.8%	→ 77.1%	→ 83.8%

となり、鍵を握る高齢男性と子育て世代の女性がこれまで以上に就業し、生産人口として支える力だけではなく、消費者としても重要になってくる。

就労を促進するための制度改革として、公的年金制度の改革・税制改革・雇用制度の改革の必要性を強調されていた。

いわゆる2025年問題が横たわっていることから、社会保障給付費の将来見通しはサービスを提供する医療給付と介護給付が激増するが、未来への投資となる子ども・子育て支援にかける独自財源なく少なすぎるとの指摘があり全世代型給付をしなければならぬとも強調されていた。

(2) テーマ「地方行政を取り巻く状況と地域づくり」

講 師：池田憲治氏（前総務省地域力創造審議官）

2040構想には、団塊の世代と団塊ジュニア世代が高齢者となったおり、わが国の人口ピラミッドは棺おけ型になっている。近年の出生数は年間100万人に満たず、2040年にはこの世代が20歳代となっており、高齢者世代と生産世代の人口がいびつになり地方の若者を吸収しながら老いていく東京圏と支え手を失う地方ということで、東京圏以外の地方は人口減少が激しくなっていく。

熊取町にあっても、2015年から2040年の人口変動は20%減少

また、老朽化したインフラ・公共施設が大幅に増加し、人口減少下では水道の料金が上昇するような恐れが出てくる。

また、都市では、人口減少により、「都市のスポンジ化」や人口集中地区の低密度化が進行し、中山間地域では、集落機能の維持が困難になるような低密度化が発

生し、高齢者と女性、若者の労働参加が進まないと労働力不足が顕著になる。

そういった時代の自治体行政は、フルセット主義から脱却し、圏域単位での行政にし戦略的に圏域内の都市機能を守り、都道府県と市町村の二層制を柔軟化し、それぞれの地域に応じた基盤構築が必要になると感じる。

(3) テーマ「変化する地方行政と議員の役割」

講 師：山田啓二氏 (元京都府知事)

今時代は大きく変わっている。

少子高齢社会が進行し、人口の4人に1人以上が65歳以上となり、全都道府県で65歳以上人口が14歳以下人口を上回る。特に女性人口の本格的な減少。女性の人口が減少すれば、出生率が伸びたとしても出生人口は減少してしまう。少子高齢化の進行により、女性総人口に占める50歳未満女性の割合が低下(1950年84.4%2020年49.6%)50歳未満女性は1/2となり、女性政策の考え方を大きく変えないといけない。

家族構成の変化

人口が減少する一方で世帯数は増加している。ひとり親世帯は475万世帯となり、この25年で1.7倍増。高齢者単身世帯の割合は増加、65歳以上の一人暮らし高齢者の動向は、65歳以上の女性の5人に1人が一人暮らしとなっている。

増加する孤立死

平成7年から平成27年で孤立死は7.5倍に、空き家数や空き家率も増加傾向にあり、施設に入居する高齢者は増加の一途にある。高齢化に伴い、養護老人ホームや特養、老健など、施設の在居者数は増え続けており、平成28年は平成12年の約1.8倍となる139万人まで増加。

依然として介護職員は不足

介護従事職員は、2015年には2000年の約3.3倍の183万人となっているが、2025年には需給253万人で見込み215.2万人で需給ギャップ37.7万人ということで介護職員は不足する。

人口減少・少子高齢化は孤立社会を招き、ソーシャル・キャピタルが低下=活力の低下・安全の低下

町内会や自治会の加入率が低下、ライフスタイルの変化や、新たに住民となった世帯の加入を避ける傾向などにより地縁型住民自治組織の加入率は低下している。商店街では空き店舗が増加し、1商店街あたりの空き店舗数、空き店舗率ともに、若干の改善は見られるものの、平成15年度以降大幅に悪化。空き店舗率 H15→H24で2倍になっている。その反面IOTの発達は顔の見えない社会を作り出しており、パソコンや携帯電話も急速に普及し、個人で過ごす時間が増加。

IOTなどで変わり続ける暮らし

情報取得先の変化

新聞発行部数 2000年：5371万部→2016年：4328万部

google年間検索数 1999年：10億回超→2016年：2兆回超

ネット販売の拡大

ネットショッピング 2002年：5.3%→2015年：27.6%

利用世帯割合

アマゾン日本事業 2010年：4372億円→2016年：1兆1661億円

売上高

シェアリングエコノミーの拡大

全世界の市場規模 2013年：150億US→2025年：3350億US

カーシェアリングは年々増加

車両台数：19.717台（20%増） 会員数 846.240人（24%増）

増加するシェアハウス

2013年3月末時点で、累計供給物件数は約1400物件、約19000戸近年は年率30%程度で供給数が増加している。

新しい時代における共生、村社会の幸せから多様性社会の幸せ、多様性を認め
コラボレーションとシェアリングによって大きな「交流」の渦を巻き起こす「共
生」の社会が、「孤立」を解消し現状を打開する鍵となる。

5 報 告
A 豊かな長寿社会を将来世代に
講 師 清 家 篤 氏 (慶応義塾大学 客員教授)
☆ 内 容
1 世界に類をみない高齢化
高齢化の水準の高さ、速度の速さ、奥行きの高さ、高齢化を喜べるようにする。
2 支える力を強化する。
労働力人口の中期見通し、鍵を握る高齢者と女性の労働力率。
3 就労を促進するための制度改革
公的年金制度・税制・雇用制度等の改革
4 社会保障給付の急増
いわゆる 2025 年問題、高齢者中心の給付から全世代型の給付へ。
5 医療介護の提供体制の重点化・効率化
地域包括ケアの実践、2040 年問題に備える。
6 社会的合意形成の必要性
自助・共助・公助の役割分担、将来世代のために。
B 地方行政を取り巻く状況と地域づくり
講 師 池 田 憲 治 氏 (全国市町村 国際文化研修所 学長)
☆ 内 容
1 2040 年問題頃にかけて迫りくる我が国の内政上の危機とその対応
・若者を吸収しながら老いていく東京圏と支え手を失う地方圏
・標準的な人生設計の消滅による雇用・教育の機能不全
・スポンジ化する都市と朽ち果てるインフラ
2 地方における外国人材の活用
・在外の親日外国人材を掘り起こしマッチングする仕組みの構築。
・外国人材が幅広い活動に従事できる「包括的な資格外活動許可」の付与。
3 公共施設等の老朽化対策の充実
・公共施設を改修し他の施設として利用。
・異なる種類の公共施設を統合し複合施設を整備。
4 地方自治体を実施する移住促進施策
・移住者に対する「住まい」、「仕事」などに関する様々な移住支援制度を設けることにより、積極的な移住促進に取り組む自治体も増進している。
・移住希望者等からの相談に対応するため、多くの都道府県が都内に移住相談窓口を開設しているほか、移住相談会・セミナー等を開催している。

C 変化する地方行政と議員の役割
講師 山田 啓二氏 (京都産業大学 教授)
☆ 内 容
1 ソーシャル・キャピタルを取り戻すために
・「新たな公共」の在り方を模索する。
・溢れるモノが社会的孤立や個人化を促す。
2 フリマアプリの登場
・フリマアプリの市場規模は 3,052 億円で誕生以来、拡大傾向。
・「所得し続ける」時代から「必要なときだけ所有する」時代へ。
3 新たな「共生」の必要性
・多様性を認め、コラボレーションとシェアリングによって大きな「交流」の渦を巻き起こす「共生」の社会が「孤立」を解消し、現状打開の鍵となる。
・従来の重点集約型の社会を脱し、多様性とコラボレーション・シェアリングの時代が来る。
・地方自治は多様性の象徴、新しい自治の扉を開けよう。
D インクルーシブ社会に向けて
講師 永瀬 充氏 (日本パラリンピアンズ協会理事)
☆ 経 歴
1976 (昭和 51) 年生まれ、北海道旭川市出身。高校 1 年生の時に神経の難病により歩行困難となる。1995 年 (19 歳)、入院中にパラアイスホッケーを知り、退院後に始める。1998 年長野パラリンピックに「ゴールキーパー」として出場。
2000 年カナダに留学し、地元チームでホッケーをしながら、大学で障がい者支援について学ぶ。2002 年ソルトレークシティ・2006 年トリノパラリンピックに出場。
2010 年バンクーバーパラリンピックで銀メダルを獲得。2015 年引退する。
10 年以上、障がい者相談支援センターで勤務し、2017 年より北海道新聞パラスポーツアドバイザーとして、取材活動や講演活動を行っている。
日本パラリンピアンズ協会の理事も務める。障がいがあってもなくても、一緒にスポーツを楽しめる地域づくりのために奮闘中です。
☆ 内 容
体験に基づく講話と、将来世代に向けた取り組みのあり方を考える講話。
6 感 想 (服 部 脩 二)
超高齢社会と少子化に伴う、自治体の各事業の対策の充実と、財源の捻出問題、また、いろいろな場面で価値観の多様性が議論されているが、私は、伝統文化を守り、人として理解するよう努力し、豊かな社会の実現に向けて前進したいと思います。
以 上

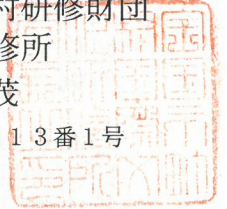
全国研第271号
平成30年6月27日

大阪府 熊取町議会議長様

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所

学長 松 崎 茂

滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号



研修受講の決定について

先にお申込みいただきました貴所属議員の研修受講について、次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。
つきましては、以下の事項にご留意のうえ、所要の事務手続等についてよろしく願います。

氏名	矢野 正憲
コース名	平成30年度第2回市町村議会議員特別セミナー
研修期間	平成30年8月2日(木) ~ 8月3日(金)

1 研修受講に要する経費の納入について

下記金額を指定期間内に指定口座へ振り込んでください。
なお、本決定通知をもって請求書に代えさせていただきます、別途請求書は発行しません。

(1) 納入金額：6,650円 〈内訳〉 研修費(@1,200) 2,400円
食費 2,000円
研修生活動費 2,250円

(2) 指定期間：平成30年7月24日(火) ~ 7月30日(月)

(3) 指定口座：滋賀銀行 唐崎支店 普通 No.461158
みずほ銀行 大津支店 普通 No.1705329
名義人：ザイ センコクジョウリクカンシユウガ イタン
センコクジョウリクカイバンカンシユウシヨ
(公財)全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所

注1) 振込依頼書の「ご依頼人氏名欄」は、必ず貴団体名を記入してください。
注2) 貴団体からの振込通知書の送付は不要です。

全国研第271号
平成30年6月27日

大阪府 熊取町議会議長様

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所

学長 松 崎 茂

滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号



研修受講の決定について

先にお申込みいただきました貴所属議員の研修受講について、次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。
つきましては、以下の事項にご留意のうえ、所要の事務手続等についてよろしくお願
いします。

氏名	服部 脩二
コース名	平成30年度第2回市町村議会議員特別セミナー
研修期間	平成30年8月2日(木) ~ 8月3日(金)

1 研修受講に要する経費の納入について

下記金額を指定期間内に指定口座へ振り込んでください。
なお、本決定通知をもって請求書に代えさせていただき、別途請求書は発行しません。

(1) 納入金額：6,650円 <内訳> 研修費(@1,200) 2,400円
食費 2,000円
研修生活動費 2,250円

(2) 指定期間：平成30年7月24日(火) ~ 7月30日(月)

(3) 指定口座：滋賀銀行 唐崎支店 普通 No.461158
みずほ銀行 大津支店 普通 No.1705329
名義人：ザイ センカチョウリクシユガ タン
センカチョウリクサイベンカシユウシヨ
(公財)全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所

注1) 振込依頼書の「ご依頼人氏名欄」は、必ず貴団体名を記入してください。
注2) 貴団体からの振込通知書の送付は不要です。

領収書 矢野 様

Receipt
領収年月日 2018.-7.26
領収金額 ¥6,540 (消費税等込み)
上記金額確かに領収いたしました
購入商品 JR乗車券類 JR tickets
(60167 枚)
西日本旅客鉄道株式会社
熊取駅
熊取駅F1発行 10169-01

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

領収書 服部 様

Receipt
領収年月日 2018.-7.26
領収金額 ¥6,540 (消費税等込み)
上記金額確かに領収いたしました
購入商品 JR乗車券類 JR tickets
(60167 枚)
西日本旅客鉄道株式会社
熊取駅
熊取駅F1発行 20170-01

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

ご利用明細

SMBC

☆☆お振込☆☆

お振込金額 ¥6,650
振込手数料 ¥216
お取引後残高 ~~11,121,980~~

お受取人は
みずほ銀行
大津支店
普通 #1705329
ザイ)セ)ソコクシチヨウソクケンシユウサ)イタ
"ソセ"様
お振込人は
クマトリチヨウ ヤノ 様

お取扱日 30. 8. 1 電信振込

取扱店	機番	年月日	時刻	印紙税申告納 付につき 税務署承認済
17472		30. 8.	112:09	
				4162
銀行番号	店番号	口座番号等		
0009	0174	0717****1130		

三井住友銀行

ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
30-07-26	41008	カート送金
記号	番号	
*****	****2731	
取扱番号	お取引金額	
N190	*6,650	
	残高	
	*1,121,980	

滋賀銀行
唐崎支店
普通 461158
ザイ)セ)ソコクシチヨウソクケンシユウサ)イタ
"ソセ"様
送金料金 *216円
振込予定日 30-07-26
ハットリ シュウジ

ご利用いただきましてありがとうございました。
ゆうちょ銀行